
proof of life

嵐炎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

proof of life

【Nコード】

N0774Z

【作者名】

嵐炎

【あらすじ】

ついに来てしまった最後の時。

ーせてオレが生きた証を残したい。

プロローグ（前書き）

嵐炎です（^^）

今回は鏡音三大悲劇の一つ、「proof of life」をリ
ボーンで書いてみました。
ツナ視点です。

プロローグ

朝目が覚めて、ふと窓に目を向けると、外は真っ白だった。

「積もったなあ…」

毎年この季節になるとこの辺りは雪は降るけど、こんなに真っ白になったのは初めて見た。

でもこんな景色を見れるのも今日で最後なんだな…。

だって今日は

オレがこの世から離れる日だから。

数ヶ月前に、オレは病気を患った。

それは「不治の病」と言われているモノだった。

その時に医者から余命を告げられた。

「せいぜい長くて5ヶ月でしょう」

でも実際は少し長く生きる事が出来た。

今日で10ヶ月。

たぶん他の皆が気遣ってくれたからかな。

でもオレは皆に「不治の病にかかっている」なんて言っていない。

あ、違う。

言えなかった。

この事を知ってる人は他にリボンしかない。

皆には心配かけたくないから。

…え？何で今日なのか分かったかって？

夢で言われたんだ。

「今日で全てが終わる」 って。

「ちやおっす」

「リボーン…」

…この顔も見れなくなるんだな。

「…何かあったか、ツナ」

「…やっぱお見通しか」

リボーンに全てを話した。

さすがにリボンも驚いたらしく、聞いた後は少し固まっていた。

「…そうか。ついに来たのか…」

「うん…」

「…大丈夫か？」

「…今も信じたくないんだけどね」

オレだって心の準備ってのが必要なんだ。

けど時間は止まってくれない。

「…とりあえず起きようかな」

「だな。皆下で飯食ってるぞ」

「うん、行こっか」

そうして下に降りていった。

そしてここで過ぎす最後が始まった。

s c e n e ? — w i t h g u a r d i a n o f s t o r m — (前

タイトルが長いw

獄寺とツナメインです。

下に降りるとトーストの香ばしい香りがした。

「おはようございます。10代目」

真っ先に声をかけてくれたのはやはり獄寺くんだった。

「おはよう」

「朝ごはん、出来てますよ」

「ありがとう」

テーブルに置かれているのはトーストと目玉焼き。

いつも普通に食べていたけど、これが最後の朝ごはんなんだな…。

味わって食べないと。

「…10代目？どうかなされましたか？」

「ううん、何でも」

そう言ってトーストを口に入れる。

すると自然に笑みがこぼれた。

「10代目、何かありましたか？」

「ん?…いや、何でもないよ」

「そうですか…今日の10代目はいつもと比べて行動がゆっくりなので…」

やっぱり右腕だからか、見ている所が違うな。

「今日はちょっとのんびりしてたんだ」

「そうでしたか」

ニツコリとした顔で獄寺くんは言う。

「…ねえ、獄寺くん」

「何ですか?」

「もしもさ…オレが…」

黙ってしまったオレを不思議そうに見つめる。

「もしも…?」

…聞いてみようかなって思って聞いたけど、やっぱり言えない。

「もしもオレが死んだらどうする？」なんて。

「…やっぱ何でもないや」

「？　　そうですか…」

そうしていつもより長めに朝ごはんを食べた。

「ごちそうさまでした」

「俺が片付けておきますね」

「ありがとう…」

ふと気になったけど、他の皆が見当たらない。

「ねえ、山本とかはどこにいるか分かる？」

「アイツは確か…芝生頭とジョギングに行きましたよ。多分そろそろ帰ってくると思いますが」

「そっか。ありがとう」

そう言ってオレはダイニングから出ていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0774z/>

proof of life

2011年12月3日16時49分発行